



# 令和の「学び」のスタンダード

一人一台タブレットPCを活用した「学び」へ

## GIGAスクール構想とは

現在、生活のさまざまな場面でICT<sup>※1</sup>が日常的に活用され、急速に情報化が進んでいます。これからの社会を生きる子どもたちが必要な力を育むために、文部科学省が中心となって高速大容量の通信ネットワークを学校に整備し、児童生徒に一人一台タブレット<sup>※2</sup>PCを配備して、学校教育の情報化を推進する事業をGIGAスクール構想といえます。令和の時代における学校教育のスタンダードとして、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、自分の良さや可能性を認識するとともに、他者を尊重し、多様な人と協働しながら豊かな生活を送り、子どもたちが持続可能な社会の創り手となることができるよう、学校では子どもたちと教員が一緒にあって試行錯誤しながら積極的にICTを授業などに取り入れ、より一層の学びの充実を図っています。

本市の子どもたちが、どのようにICTを活用しているか、その様子を紹介します。

※1：ICT…Information and Communication Technologyの略。情報通信技術

※2：タブレット…平板状の外形を備え、タッチパネルあるいはペン入力操作に対応したディスプレイを搭載した機器